



## 平成29年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年12月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アイル

コード番号 3854 URL <http://www.ill.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 小倉 直子 TEL 06-6292-1170

四半期報告書提出予定日 平成28年12月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年7月期第1四半期の連結業績（平成28年8月1日～平成28年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年7月期第1四半期	1,804	△2.0	△38	-	△30	-	△26	-
28年7月期第1四半期	1,840	12.3	76	100.9	81	95.6	47	134.3

(注) 包括利益 29年7月期第1四半期 △11百万円 (-%) 28年7月期第1四半期 50百万円 (98.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年7月期第1四半期	△4.16	-
28年7月期第1四半期	7.62	7.61

(注) 29年7月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年7月期第1四半期	4,834	1,773	36.7
28年7月期	4,981	1,897	38.1

(参考) 自己資本 29年7月期第1四半期 1,773百万円 28年7月期 1,897百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年7月期	-	0.00	-	18.00	18.00
29年7月期	-	-	-	-	-
29年7月期(予想)	-	0.00	-	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年7月期の連結業績予想（平成28年8月1日～平成29年7月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,080	12.6	134	3.9	149	8.4	91	△31.2	14.69
通期	9,000	14.0	401	6.4	428	9.1	272	9.8	43.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年7月期1Q	6,260,714株	28年7月期	6,260,714株
② 期末自己株式数	29年7月期1Q	－株	28年7月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年7月期1Q	6,260,714株	28年7月期1Q	6,255,714株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年8月1日～平成28年10月31日)におけるわが国経済は、中国やアジア新興諸国の景気の下振れ、英国のEU離脱問題等、海外の経済不安はあるものの、国内経済においては、雇用、所得環境の改善も続いており、緩やかではありますが回復基調は続いております。

当社グループが属する情報サービス業界においても、企業業績の改善傾向もあり、ソフトウェアに対する投資も緩やかな増加傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループは、ITの有効活用が必要な中堅・中小企業顧客の経営課題を解決するための商材を「リアル」と「Web」の両面から開発・提案し、顧客の企業力強化を図ることを「CROSS-OVER シナジー」戦略とし取り組んでまいりました。

「CROSS-OVER シナジー」戦略は、当社グループが提唱してきた独自の提案スタイルで、「リアル」と「Web」それぞれの商材を複合的に提案することで、顧客の業務効率と販売力強化を実現するものであり、当社グループにとって商談時の競合力を強化するだけでなく、顧客満足度も向上させるものであります。この戦略効果により、当社グループが重視するストック型ビジネス商材の販売実績が大きく伸長し、利益体質の強化が図られております。

販売実績につきましては、「リアル」面では、主力のパッケージソフトウェア「アラジンオフィス」の商品力の強化を、業種別に継続して進め、販売面でもパートナー企業との連携に加え、東京、大阪、名古屋において「アラジンオフィス」の業種別セミナー及び展示会を開催し、豊富な業種別の導入事例をもとに顧客毎に最適なシステム活用方法をご提案させていただくことで、受注実績も順調に推移しましたが、案件規模の大型化に伴い、売上計上に関して納期も長期化しており、売上高は前年より微減となりました。

「Web」面では、複数ネットショップ一元管理ソフトである「CROSS MALL」について、新たなショッピングモールとの連携開発を継続して取り組み、当第1四半期では、株式会社キャッチボールが提供する「後払い.com」との連携を行いました。今後も引き続き、複数モールとの連携機能強化を行ってまいります。既存の顧客から機能面における要望を収集し、迅速に新機能として反映させることで、商品力を向上させ販売実績を伸ばしました。また、ネットショップと実店舗のポイント・顧客一元管理ソフトである「CROSS POINT」は、低コストで購買履歴の把握までも可能にし、スマートフォンをポイントカードとして利用できる機能等を開発したことも評価され、継続して販売実績を伸ばしております。

当第1四半期においても、継続して製品の開発に注力しており、その為の積極的な人員の強化を行い、その結果、開発費用、人件費等が増加しました。また、先行投資として、将来における新たな技術の開発による市場競争力向上に向け、研究開発費を計上しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高1,804,819千円(前年同期比2.0%減)、営業損失38,143千円(前年同期は営業利益76,841千円)、経常損失30,372千円(前年同期は経常利益81,665千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失26,060千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益47,660千円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べて146,849千円減少し、4,834,607千円となりました。その減少の主な内容は、現金及び預金105,830千円、仕掛品78,765千円、ソフトウェア仮勘定68,265千円等が増加したものの、受取手形及び売掛金425,551千円等が減少したことによります。

また、負債合計は、前連結会計年度末と比べて22,662千円減少し、3,061,311千円となりました。その減少の主な内容は、賞与引当金97,500千円等が増加したものの、未払法人税等62,638千円、長期借入金40,002千円等が減少したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて124,186千円減少し、1,773,295千円となっております。その減少の主な内容は、親会社株主に帰属する四半期純損失26,060千円、剰余金の配当112,692千円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね当社グループの予想範囲内にて推移しており、平成29年7月期通期連結業績予想につきまして、変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
重要な子会社の異動はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,396,806	1,502,636
受取手形及び売掛金	1,250,554	825,002
商品	118,643	129,844
仕掛品	616,784	695,549
繰延税金資産	69,168	99,545
その他	40,183	51,734
貸倒引当金	△6,506	△4,142
流動資産合計	3,485,632	3,300,170
固定資産		
有形固定資産	297,979	296,750
無形固定資産		
ソフトウェア	374,419	345,995
ソフトウェア仮勘定	188,821	257,086
その他	1,739	1,739
無形固定資産合計	564,979	604,821
投資その他の資産		
繰延税金資産	198,508	202,972
その他	438,906	434,191
貸倒引当金	△4,549	△4,299
投資その他の資産合計	632,865	632,864
固定資産合計	1,495,824	1,534,436
資産合計	4,981,456	4,834,607
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	321,846	304,877
1年内返済予定の長期借入金	163,342	160,008
未払法人税等	115,142	52,503
賞与引当金	33,000	130,500
製品保証引当金	35,630	38,564
その他	924,683	893,252
流動負債合計	1,593,644	1,579,706
固定負債		
長期借入金	596,656	556,654
退職給付に係る負債	698,562	718,721
役員退職慰労引当金	102,954	113,850
資産除去債務	92,156	92,379
固定負債合計	1,490,329	1,481,605
負債合計	3,083,974	3,061,311

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	354,673	354,673
資本剰余金	319,673	319,673
利益剰余金	1,344,296	1,205,542
株主資本合計	2,018,643	1,879,890
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△116,730	△105,524
その他有価証券評価差額金	△4,431	△1,070
その他の包括利益累計額合計	△121,161	△106,594
純資産合計	1,897,481	1,773,295
負債純資産合計	4,981,456	4,834,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成27年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成28年10月31日)
売上高	1,840,778	1,804,819
売上原価	1,163,823	1,171,321
売上総利益	676,954	633,497
販売費及び一般管理費	600,113	671,640
営業利益又は営業損失(△)	76,841	△38,143
営業外収益		
受取手数料	4,006	3,550
違約金収入	432	2,593
その他	687	2,677
営業外収益合計	5,126	8,821
営業外費用		
支払利息	302	1,050
営業外費用合計	302	1,050
経常利益又は経常損失(△)	81,665	△30,372
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	81,665	△30,372
法人税、住民税及び事業税	64,617	35,470
法人税等調整額	△30,612	△39,781
法人税等合計	34,005	△4,311
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,660	△26,060
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	47,660	△26,060

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成27年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成28年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,660	△26,060
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	3,101	11,206
その他有価証券評価差額金	—	3,360
その他の包括利益合計	3,101	14,567
四半期包括利益	50,761	△11,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,761	△11,493
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。